

ITパスポート試験合格！！

経済産業省が主催する国家資格に『ITパスポート試験』があります。恵那南高校になってから、在校中にその資格を取得した生徒が8名います。今年度の3年生で、この4月に合格した生徒に、自分が恵那南高校へ来て、系列を選択したきっかけや、ITパスポート試験を受験するまで、そしてこれからを聞いてみました。

ITパスポート試験に合格して

3年Cさん

私は2年次からの系列選択で情報系列を選択しました。なぜ情報系列を選択したかという、1年次の「社会と情報」でパソコンを使った授業をして全商情報処理検定3級を取得することができ、もっとパソコンを使った授業をやりたいと思ったからです。

2年次になり、情報系列に所属し情報処理検定に向けての学習を始める時、先生に「飛び級して1級をやってみないか」と言われました。2級をやらずに1級をやってみようかなと不安な気持ちもありましたが、挑戦したいと思ったので1級を受けよう決めました。全商情報処理検定1級の試験は筆記のみだったので、用語ばかりで覚えることがたくさんありました。授業では用語が覚えられなくてやる気を無くしてしまうこともありましたが、試験に近づくと受かりたいという思いが強くなり過去問題を繰り返しやりました。試験前日の夜には第1回模擬から第10回模擬までを復習して、翌日試験に臨みました。そして前日まで復習をしたかいあって、1級に合格することができました。

1級に合格した後、「ITパスポートという資格に挑戦してみるか」と言われました。既に



貫っていたITパスポートの問題集はとても厚くて用語がたくさんあったので、正直私はそんなに覚えられないと思い挑戦するか迷ってしま

した。授業では、自主学習でITパスポートの勉強をするように言われていたのですが、とにかく量が多くて全然覚えられなかったのであまり自主的に学習をしていませんでした。

申込期限が近づき、受験するかしないかを決めないといけなくなりましたが、それでもまだ迷っていました。しかし親に迷っていることを相談したら「難しくても受けるだけ受けてみたら」と言われ、系列学習で面倒を見てくださっていた先生やその時の担任の先生も「頑張れ」と言ってくさったので受験することを決めました。

受験すると決めたものの、そこからすぐに勉強を始めることができず、まだ受験は先だから大丈夫とどこかで思っていました。そうこうしているうちに受験まで1ヶ月を切り、焦りを感じていましたが勉強をやってもなかなか覚えられず、覚えることも多く追い込まれて投げ出したくなることもありましたが、しかし、全商情報処理検定1級の時と同様に試験が近づくにつれて受かりたいという思いが強くなり、試験1週間前からは、過去問をひたすら解き続けました。過去の模擬をやっているうちにだんだん合格基準に近づいてきていました。当日も試験会場に向かう間に少しでも過去問を解いて勉強をしました。試験会場は名古屋にあり、学校以外で試験を受けるのは初めてだったし、一人で会場に入ることも初めてなので、緊張しました。



ITパスポートの合格基準は全体の6割を満たしていることと3つの分野全て3割以上を満たしていることです。ITパスポートは試験終了後すぐに自分の点数が表示される仕組みになっていました。私は解答を終えて試験終了し点数を見た時、3つの分野はどれも3割以上できていたが全体の点が1000点中600点ちょうどだったので合格しているのか分かりませんでした。合格発表まで約1ヶ月ありましたが、その間ずっと不安でした。合格発表の日、自分の受験番号を探してみると、番号が載っていて合格を確認しました。最初はITパスポートを受けると思ってなかったし、勉強してきた中で、もうどうでもいいやと思ったこともありましたがここまでやってきて受かることができたので嬉しかったです。

「飛び級受験」、「ITパスポート試験受験」は、私にとって大きな自信となりました。声をかけてもらわなかったら、飛び級もITパスポートも受験していないかもしれません。自分は、就職を希望しているので、これから就職試験に向けての勉強をしていきます。就職試験では試験が近づくと焦る…ということがないように、今から勉強していきたいです。